

第5期病院経営システム（勤怠管理システム）構築及び運用に関わる業務委託契約落札者決定基準別紙(提案書評価表)

評価点	評価項目					記述項目一覧	調達仕様書 該当箇所	得点配分				技術点 比重	全体 合計	全体 比重
	大項目		中項目		小項目			評価採点	重み付け	上限配点	小計			
技術点	1	本業務の主旨・目的	1.1	本業務に対する理解	1.1.1	本業務の目的・概要についての理解	1. 本業務および次期システム構築の方針を踏まえて、本調達に対する事業者(以下「提案者」という。)の理解を記載すること。 2. 上記を踏まえて、提案者における本調達の取組方針を記載すること。	調達仕様書「1.1.背景と方針」		2	10	25	5%	
					1.1.2	システム化の実現方針	1. 「1.1.背景と方針」等を踏まえた上で、 システム化の実現方針を具体的に 記載すること。 2. 提案するシステム化の実現方針の 特徴、当該特徴が当機構にもたらす効果 （他事業者との比較優位性）について、次の事項を含め具体的な根拠をもって記載すること。 - 提案するシステムのコンセプト、優位性等に関する記載 - 提案するシステムの効果（業務の効率化、将来の拡張性等）に関する記載 - 提案するシステムのシステム全体像、業務概要等に関する記載 等	調達仕様書「1.1.背景と方針」		3	15			
	2	提案者に関する情報	2.1	提案者の概要	2.1.1	提案者に関する概要	1. 提案者に関する概要（会社概要、主要業務等）を記載すること。	調達仕様書「5.1.プロジェクト管理要件」		1	5		15%	
					2.1.2	導入実績	1. 提案者の過去の類似案件について、 当該実績 （地方独立行政法人、独立行政法人を中心とした医療機関 等）、 実施時期・期間、サービス内容 （対象システム・規模）等を具体的に記載すること。 2.提案者が 上記実績を有することにより、本業務を遂行するにあたってどのような特徴 を有しているか、当該特徴が当機構 にもたらす効果 （他事業者との比較優位性）について、次の事項を含め具体的な根拠をもって記載すること。 -医療機関へ導入した内部事務システムの構築実績や当機構にもたらす効果 等	調達仕様書「5.1.3.プロジェクト体制」		3	15			
2.1.3					参加資格等	1. 本業務を遂行するにあたって、 提案者が有している有用な資格 について、具体的に記載すること。	調達仕様書「5.1.3.プロジェクト体制」		1	5				
			2.2	業務推進体制	2.2.1	業務推進体制・責任者(構築、運用保守)	1. 本業務を推進するにあたっての、 提案者側の体制、及び要員の役割(専任/兼任含む)・実績 を記載すること(再委託する場合、委託先の企業名（団体名）、再委託する業務範囲、業務を再委託することが必要不可欠である理由 を具体的に記載すること)。なお、構築、運用保守のそれぞれを記載すること。 2. 提案する 業務推進体制が当機構にとって有用であることを 、次の事項を含め具体的に記載すること。 - プロジェクト責任者のプロジェクト管理実績や有している資格に関する記載 - 各チームの責任者の有用なプロジェクト遂行実績や有している資格に関する記載 - 要員変更がある場合も同一水準のスキルを有する要員を配置するための工夫に関する記載 3. 本業務期間中に、提案した 体制を維持することが可能であることの根拠 を具体的に記載すること。	調達仕様書「5.1.3.プロジェクト体制」		5	25	75		

評価点	評価項目					記述項目一覧	調達仕様書 該当箇所	得点配分				技術点 比重	全体 合計	全体 比重
	大項目		中項目		小項目			評価採点	重み付け	上限配点	小計			
					2.2.2	当機構等と事業者との役割分担/作業分担(構築、運用保守)	調達仕様書「5.1.4.プロジェクトに関わるステークホルダー」		5	25				
	3	調達仕様書要件に対する提案	3.1	機能要件	3.1.1	勤務予定管理	調達仕様書「3.1.機能要件・帳票要件」 調達仕様書「3.2.他システム連携要件」 調達仕様書「4.非機能要件」 (仕様書別紙含む)		15	75				

評価点	評価項目					記述項目一覧	調達仕様書 該当箇所	得点配分				技術点 比重	全体 合計	全体 比重
	大項目		中項目		小項目			評価採点	重み付け	上限配点	小計			
					3.1.2 勤務実績管理	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。 - 医療職の特徴を踏まえた勤務実績管理の実現方法とそれが有用と考えられる根拠 - 手当支給に直結する勤務実績情報の申請に係る負担を軽減する工夫と実現方法 - 承認者の負担を軽減するための工夫と実現方法 - 医師の働き方改革（宿当直許可の管理、代償休息の管理等）に対応した勤務実績管理の実現方法とその根拠 - 給与計算に必要な根拠情報の管理について、職員の負担を軽減する方法 等 2. 当該要件に関して、提案する機能の特徴、当該特徴が当機構にもたらす効果(他事業者との比較優位性)について、根拠を具体的に記述すること。	調達仕様書「3.1.機能要件・帳票要件」 調達仕様書「3.2.他システム連携要件」 調達仕様書「4.非機能要件」 (仕様書別紙含む)		15	75	250			
					3.1.3 休暇・休業管理	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。 - 当機構の多様な休暇・休業制度に柔軟に対応可能な、休暇・休業管理の在り方と実現方法 - 休暇・休業の管理負担（申請者・承認者）を軽減するための工夫と実現方法 - 人事システムとの連携（休業情報反映・申請の連携等）の工夫と実現方法 - 年次有給休暇の付与・残日数管理の負担を軽減するための工夫と実現方法 等 2. 当該要件に関して、提案する機能の特徴、当該特徴が当機構にもたらす効果(他事業者との比較優位性)について、根拠を具体的に記述すること。	調達仕様書「3.1.機能要件・帳票要件」 調達仕様書「3.2.他システム連携要件」 調達仕様書「4.非機能要件」 (仕様書別紙含む)		15	75			500	50%

評価点	評価項目					記述項目一覧	調達仕様書 該当箇所	得点配分				技術点 比重	全体 合計	全体 比重
	大項目		中項目		小項目			評価採点	重み付け	上限配点	小計			
					3.1.4 共通	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。 - 地方独立行政法人及び医療機関の業務及び職員の特徴を踏まえ、効率的な業務遂行に有用である考えられる画面表示や構成の在り方と実現方法 - 当機構の組織、業務に合わせたマスタ管理の手法（初期設定を含む）等 2. 当該要件に関して、提案する機能の特徴、当該特徴が当機構にもたらす効果(他事業者との比較優位性)について、根拠を具体的に記述すること。	調達仕様書「3.1.機能要件・帳票要件」 調達仕様書「3.2.他システム連携要件」 調達仕様書「4.非機能要件」 (仕様書別紙含む)		5	25				
			3.2	構築役務	3.2.1 構築スケジュール	1. 仕様書に示す当該 要件の実現方法や仕様を満たす根拠 について、次の事項を含め具体的に記述すること。 - 構築期間を有効的に活用するための方策 - 職員の通常期や繁忙期、人事異動等による影響を緩和するための方策 - 受入テストや研修など当機構職員が期間的余裕をもって対応するための方策 等 2. 当該要件に関して、提案する 機能の特徴 、当該特徴が当機構にもたらす 効果 （他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	調達仕様書「2.4.スケジュール」		5	25				

評価点	評価項目					記述項目一覧	調達仕様書 該当箇所	得点配分				技術点 比重	全体 合計	全体 比重
	大項目		中項目		小項目			評価採点	重み付け	上限配点	小計			
					3.2.2	プロジェクト管理要件	調達仕様書「5.1.2.プロジェクト管理」		5	25				
					3.2.3	設計・構築・テスト要件	調達仕様書「2.2. 構築保守工程における成果物」 調達仕様書「5.2.開発要件」 調達仕様書「5.3.テスト要件」 調達仕様書「5.6.構築工程における留意事項」		5	25	100	20%		

評価点	評価項目						記述項目一覧	調達仕様書 該当箇所	得点配分				技術点 比重	全体 合計	全体 比重		
	大項目		中項目		小項目				評価採点	重み付け	上限配点	小計					
					3.2.4	システム切替要件	1. 仕様書に示す当該 要件の実現方法や仕様を満たす根拠 について、次の事項を含め具体的に記述すること。 - システム切替の適切かつ円滑な実施方法 - システム切替の推進体制 - 当機構及び他システム（現行事業者・当機構他受託事業者 等の役割分担 - 当機構職員が容易にシステムを習熟するためのマニュアル・研修に関する工夫 等 2. 当該要件に関して、提案する 機能の特徴 、当該特徴が当機構にもたらす 効果 （他事業者との比較優位性） について、根拠を具体的に 記述すること。	調達仕様書「5.4.システム移行要件」 調達仕様書「5.5.研修要件」 調達仕様書「5.6.構築工程における留意事項」		5	25			500	50%	500	50%
			3.3	運用保守	3.3.1	運用・保守要件	1. 仕様書に示す当該 要件の実現方法や仕様を満たす根拠 について、次の事項を含め具体的に記述すること。 - 当機構からの問合せに対して、迅速かつ適切に回答するための方策 - セキュリティパッチ適用、セキュリティ機能のチューニング、各機能の権限設定などの適切なセキュリティ水準を満たすための運法保守方法 - 長期間にわたって安定稼働を担保する運用保守業務 - 当機構及び他システム（現行事業者・当機構他受託事業者 等）との役割分担等 2. 当該要件に関して、提案する 機能の特徴 、当該特徴が当機構にもたらす 効果 （他事業者との比較優位性） について、根拠を具体的に 記述すること。	調達仕様書「2.3. 運用保守工程における成果物」 調達仕様書「6.運用要件」 調達仕様書「7.保守要件」 調達仕様書「8. サービスレベル合意（SLA）」		10	50	50	10%				
									－	－		500	50%	500	50%		
価格点	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	500	－	500	50%		
									－	－	－		－	1,000	100%		